

子どもたちのために、日本を変える

Florence

© 2021 Aladdin X Inc.

インクルーシブ・テックフェスタ2026 イベント概要

認定NPO法人フローレンス インクルーシブ・テックPJ

インクルーシブ・テックフェスタ2026 概要

インクルーシブ・テックPJが目指すこと

**テクノロジーの活用が一般的となり、障害の有無に関係なく
「一緒に遊び」「一緒に学び」「一緒に活動する」
という“新しいあたりまえ”をつくる**

昔、メガネが高級品で広く一般に普及していなかった頃、近視や遠視は視力障害の一種でした。ところが今や、メガネやコンタクトレンズの活用はあたりまえになり、近視や遠視が障害だという認知はなくなっています。

当プロジェクトでは、**メガネのようにテクノロジーの活用が一般的**になり、**障害の有無に関係なく、ごちゃまぜでいることが当たり前**の社会の実現を目指し、活動を行っています。

“ごちゃまぜの世界”を実現させるための場づくり

本イベントでは以下の3つの要素を満たす設計を行っています。

テクノロジー

障害によって生じる困難を補う



専門的な支援者
(作業療法士)

1人ひとりの身体に合わせて
テクノロジーの
フィッティングを行う



自然に交流が
できる場

障害の有無に関係なく
「一緒に活動ができる」
ことを知る

2026年度に向けて考えていること

インクルーシブ・テックフェスタ2026（仮）の意義

- テクノロジーの活用により、こどもたちの世界（遊びの幅、出会う人、できること）が広がることを体感できる
- 障害当事者と非当事者が「ともに遊ぶ」体験を通してお互いの理解を深めるきっかけになる

パラeスポーツフェスタ2025から進化させたいところ

- インクルーシブ・テックの活用で、ゲーム以外の領域でもお子さんの世界が広がることを体感してもらう
 - クリエイティブ体験
 - 日常生活におけるテクノロジーの活用方法の提案
- 参加されるご家庭のきょうだい児も思い切り楽しめる・繋がりを持てる場にする

インクルーシブ・テックフェスタ2026 コンセプト

「楽しい！」は、すべての原動力。

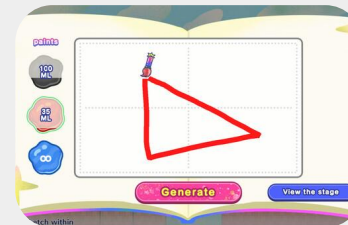
こどもたちの世界が広がるテクノロジーと
出会う場所

～ゲームから日常生活での応用まで～



遊びを通して「ともに活動する」が
自然に生まれる場所

～大人もこどもも、きょうだいも～



イベント概要

イベント名	インクルーシブ・テックフェスタ2026～あそぼう！つくろう！つながろう！～
日付	2026年8月6日（木） 【第1部】12:30受付開始、14:30終了【第2部】16:00受付開始、18:00終了
場所	大崎ブライトコアホール https://osaki-hall.jp/ 〒141-0001 東京都品川区北品川5丁目5-15 大崎ブライトコア3F JR・りんかい線大崎駅 徒歩5分
対象者	肢体不自由のあるお子さんとご家族 <ul style="list-style-type: none">対象のお子さん60名+きょうだい（2部制、各部30名ずつで検討中）お子さん1名につき同伴者5名程度
コンテンツ（予定）	ブース <ul style="list-style-type: none">ゲーム体験コーナークリエイティブ体験コーナー日常生活に活かせるテクノロジー体験コーナー ステージ <ul style="list-style-type: none">ゲームで対戦、交流イベント など

イベント関係者

現時点では、以下の通りを予定しています。

主催

- 特定非営利活動法人フローレンス（事務局）
- テクノツール株式会社（インクルーシブ・テック提供）

関係者

- 企画アドバイス：株式会社アシテック・オコ
- 企画・制作：株式会社JCG
- パートナー：DAIKO XTECH株式会社／日本オラクル株式会社／PagerDuty株式会社
- 協賛：花王株式会社／花王ハートポケット倶楽部／公益財団法人 小林製薬青い鳥財団
- 協力：サントリーホールディングス株式会社／一般社団法人東京都作業療法士会

準備スケジュール

時期	タスク
1～3月	<ul style="list-style-type: none">・会場の選定・契約・制作会社の選定・契約・イベント概要・コンテンツ概要の決定
3～4月	<ul style="list-style-type: none">・関係各社との協力体制確定・契約書の締結・コンテンツ企画
5月	<ul style="list-style-type: none">・コンテンツ企画概要決定・告知物の制作
6月	<ul style="list-style-type: none">・参加者募集・作業療法士ボランティア募集・企業ボランティア募集・見学者誘致
7月	<ul style="list-style-type: none">・ロジの確定・必要物の準備・ボランティア保険加入対応
8月	<ul style="list-style-type: none">・イベント開催・アンケート回収・分析・運営者振り返り
9月	<ul style="list-style-type: none">・広報動画納品

コンテンツ・レイアウト (5/13時点)

2

会場レイアウト案 05/13版

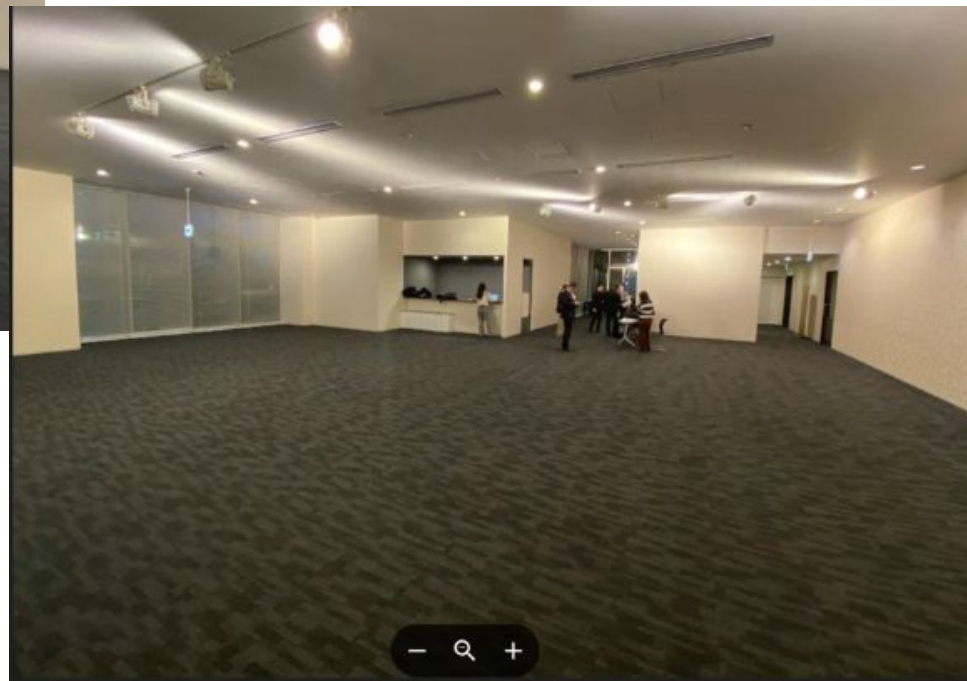
大崎ブライトコアホール



大崎ブライトコアホール内観（メインホール）



大崎ブライトコアホール内観（ホワイエ）



利用ゲームタイトル（5/18時点）

- ふよぷよeスポーツ
- 太鼓の達人ドンダフルフェスティバル
- スイカゲーム
- ソニックレーシング
- Sky
- みんなのゲームラボ

ボランティアについて

期待役割と募集人数

分類	人数	期待役割
作業療法士	33名（必須）	■ イベント開始前 ：設営準備サポート ■ イベント開始後 ：参加するお子さん（各部30名ずつ予定）を1人ずつ担当していただき、お子さんが体験したいコンテンツに適したテクノロジーのフィッティングを行う
作業療法学科の学生	先着20名	■ イベント開始前 ：設営準備サポート ■ イベント開始後 ：各ブース（ゲームブース15箇所、iPad、3Dプリンタ、おもちゃ・日常生活系）についてもらい、ブースに来たお子さんのブース体験に必要なセッティングやサポートを行う
企業ボランティア（大人・こども）	60名程度	※1部、2部でメンバー入換想定（一部、通し参加発生する可能性あり） ■ イベント開始後 ：各ブース（ゲームブース15箇所、iPad、3Dプリンタ、おもちゃ・日常生活系）についてもらい、ブースに来たお子さんのブース体験に必要なセッティングやサポートを行う

OT・学生ボランティア募集について

- 6/1(月)～6/14(日)でボランティア募集のご協力をお願いいたします
- 募集に際しての条件は以下を予定しています（募集チラシ掲載）

分類	人数	時間	お弁当	ボランティア保険	往復交通費
作業療法士	33名（必須）	1日通し参加前提 (10:30～18:00)	あり	フローレンスにて手続き	実費支給（ 上限5,000円 、 10円未満切り上げ）
作業療法学科の 学生	先着20名	1日通し参加前提 (10:30～18:00)	あり	フローレンスにて手続き	実費支給（ 上限1,500円 、 10円未満切り上げ）

- 募集チラシは準備完了次第お送りします
- 学生については人数が集まらなくても問題ない配置としています
- OTの人数が足りない場合は、アシテック・オコなど関係者伝手でのお声がけを予定しています

參考資料

過去の開催レポート

2025年8月開催：パラ・eスポーツフェスタ2025

- 動画：<https://youtu.be/hrM5zuc-7io?si=O0H-bP5MtTHKxHxV>

2024年8月開催：パラ・eスポーツフェスタ

- 動画：https://youtu.be/beEkv8ldQN0?si=gG-QVi_YgLn7o5H1

メディア掲載実績（2024年度）

- 「障害児におけるテクノロジーの可能性を地方の年配の方にも届ける」を目標にTVを中心としたメディアにアプローチ。主に取り組みの意義を伝えた。
- 日本テレビ・朝日新聞・共同通信・real soundが取材
- TV・新聞・WEBで計13本の報道



2024年(令和6年)11月29日(金曜日)

eスポーツ障害あっても

顔や目の動きで操作 交流・社会参加促す

8月21日、障害児らを対象にしたeスポーツのイベントが東京都品川区であった。手を動かさない子や寝たきりの子ら約20人が人気ソフト「ぷよぷよ」や天鼓の達人などを楽しんだ。障害児

頭の筋肉や目の動きなどでコントローラーを操作し、障害や病気で手や体を動かがせなくても、ゲームの腕を競う。eスポーツを業しめる「入力補助装置」の開発が進んでいる。ゲームだけでなく、オンライン上の交流や勉強、仕事を活動の幅が広がり、社会参加を促すツールとして注目される。

8月21日、障害児らを対象にしたeスポーツのイベントが東京都品川区であった。手を動かさない子や寝たきりの子ら約20人が人気ソフト「ぷよぷよ」や天鼓の達人などを楽しんだ。障害児や家族を支援する認定NPO法人フューレンスの東野が主催した。頭や足で押せる大きなスイッチや、わずかな力でも動かせるスティックなど会場には40種類を超える入力補助装置が用意された。ゲーム機に接続すればコントローラーとして使える。パソコンの下の小さなセンサーで筋肉

イベントで用意された40種類を超える入力補助装置の一部（8月、東京都品川区）

推しの力操作でeスポーツゲームをプレイし様子 8月、東京都品川区のSEGGA

や家族を支援する認定NPO法人フューレンスの東野が主催した。頭や足で押せる大きなスイッチや、わずかな力でも動かせるスティックなど会場には40種類を超える入力補助装置が用意された。ゲーム機に接続すればコントローラーとして使える。パソコンの下の小さなセンサーで筋肉

の動きを感じ、その動きに応じた操作できる装置も子どもたちは自分自身に合ったものを見つけて楽しんだ。低酸素性虚血症などで生まれた時から全身を揺るがす力補助装置が用いられる。母の妙佳さん（48）も「健常者と同じように当たり前のゲーム

を楽しめた」と喜んだ。イベントで使用された装置の多くは福祉機器の製造販売を手がける「テックツール」（東京）が開発した。当事者からは「手にまひがあるためボタンが小さいと押しづらい」「ボタンが固いと連打するのが難しい」といった要望が寄せられてきた。

ゲーム画面の外枠に取り付けたセンサーで視線の動きを感じて操作できる装置もある。担当者は「楽しみながら（eスポーツ以外の場面で）装

ミニシアターの画面の法で手触りしたと

メディア掲載実績（2025年度）

- NHK・フジテレビ・朝日新聞・共同通信・ゲームライター・セガ社内報担当者が取材
- TV・新聞・WEBで計49本の報道



YAHOO! JAPAN ニュース IDでもっと便利に新規取得
ログイン [おトク] 10%OFFクーポンあります

キーワードを入力



トップ 速報 ライブ エキスパート オリジナル みんなの意見 ランキング

主要 国内 国際 経済 エンタメ スポーツ IT 科学 ライフ 地域

視線や口の動きでゲーム楽しむ 障害ある子に体験会

8/6(水) 17:49 配信



障害のある子ども向けのゲーム体験会で、テレビゲームを楽しむ参加者 = 6日午後、東京都品川区

身体障害の影響でコントローラー操作が難しい子どもにもゲームを楽しんでもらうための体験会が6日、東京都品川区内で開かれた。視線入力を認識する端末や、口の動きに反応するボタンなど、作業療法士が機器を調整。車いすや移動式ベッドに乗った子らが、パズルやカーレースといったゲームを楽しんだ。

障害のある子の訪問看護などに取り組む認定NPO法人フローレンスと、福祉機器メーカーのテクノツールが共催。子どもと保護者ら計約30組が参加した。

作業療法士らは、手が動きにくい子には、ボタンを口元に固定し口を開けると押せるよう調整。親が別のコントローラーで手伝う“連携プレー”もあった。

受賞歴：JACEイベントアワード

一般社団法人日本イベント産業振興協会(JACE)主催の、国内外の優れたイベントを表彰する「第11回JACEイベントアワード」にて「**学生・NPO・各種団体・個人部門**」**ゴールド賞**を受賞！



*** 学生・NPO・各種団体・個人 部門賞受賞作品 ***



ゴールド賞

パラeスポーツ・フェスタ ~インクルーシブ・テックで遊ぼう!~

選考委員コメント

障害のある人や、障害児のいる家族は、福祉イベント以外での「みんなと一緒に遊ぶ、楽しむ」という、そんなシンプルなことが難しい現実がある。それを可能にするのがテクノロジーだということとは福祉業界では認識されていたが、それを広く伝えるイベントである。そこに、学生さんなどの若い人たちが参加していることに、これからの大きな展望がある。（東ちづる選考委員）